

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 介護の基本 I		授業の種類 (講義)・演習・実習)		授業担当者 坪井 創 (実務担当者)																															
授業の回数 30回	時間数(単位数) 60 時間 (4)	配当学年・時期 1年 前期		必修・選択 必修																															
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リスクマネジメントについて知ることができる。 ・ 感染症の特性や対処方法について理解し、利用者はもちろんのこと、介護者の健康にも管理できる能力を身につけられる力を育てる <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>テキスト中心に学習を進めていき、安全の確保・事故防止・安全を考えられることと、心身の健康管理について概説する。</p> <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標)]</p> <p>介護に携わる際に、安心で安全が大切であることを考えられるようになる。また、自己管理能力も身につけられるようになる</p> <p>[授業のテーマ・内容]</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 オリエンテーション・全体の流れ</td> <td style="width: 50%;">16 <u>介護福祉の基本となる理念</u></td> </tr> <tr> <td>2 <u>介護における安全の確保とリスクマネジメント</u></td> <td>17 社会福祉士法と介護福祉士法</td> </tr> <tr> <td>3 "</td> <td>18 " 心身の状況に応じた介護を考える</td> </tr> <tr> <td>4 事故防止・安全対策(<u>介護従事者の安全</u>)</td> <td>19. 介護における専門職能団体の活動 (役割)</td> </tr> <tr> <td>5 感染管理のための方策</td> <td>20 " (日本介護福祉士会)</td> </tr> <tr> <td>6 高齢者介護施設と感染対策</td> <td>21 <u>介護福祉士の倫理</u></td> </tr> <tr> <td>7 感染対策とリスクマネジメント</td> <td>22 " (演習)</td> </tr> <tr> <td>8 感染対策の基礎知識</td> <td>23 介護サービスの特性</td> </tr> <tr> <td>9 感染症発生時の対応</td> <td>24 ケアマネジメントの意味としくみ</td> </tr> <tr> <td>10 健康管理の意義と目的</td> <td>25 介護サービスの歴史的変遷と時代背景</td> </tr> <tr> <td>11 こころの健康管理、からだの健康管理</td> <td>26 介護サービスの種類と提供の場</td> </tr> <tr> <td>12 安心して働ける環境づくり</td> <td>27 高齢者に対するサービスの提供の場とその特性 (居宅)</td> </tr> <tr> <td>13 介護を取り巻く状況の変化と自身の学び方</td> <td>28 " (入所)</td> </tr> <tr> <td>14 専門職業人としての介護福祉士</td> <td>29 障がい者に対するサービスの提供の場とその特性</td> </tr> <tr> <td>15 まとめと試験</td> <td>30 まとめと試験</td> </tr> </table>						1 オリエンテーション・全体の流れ	16 <u>介護福祉の基本となる理念</u>	2 <u>介護における安全の確保とリスクマネジメント</u>	17 社会福祉士法と介護福祉士法	3 "	18 " 心身の状況に応じた介護を考える	4 事故防止・安全対策(<u>介護従事者の安全</u>)	19. 介護における専門職能団体の活動 (役割)	5 感染管理のための方策	20 " (日本介護福祉士会)	6 高齢者介護施設と感染対策	21 <u>介護福祉士の倫理</u>	7 感染対策とリスクマネジメント	22 " (演習)	8 感染対策の基礎知識	23 介護サービスの特性	9 感染症発生時の対応	24 ケアマネジメントの意味としくみ	10 健康管理の意義と目的	25 介護サービスの歴史的変遷と時代背景	11 こころの健康管理、からだの健康管理	26 介護サービスの種類と提供の場	12 安心して働ける環境づくり	27 高齢者に対するサービスの提供の場とその特性 (居宅)	13 介護を取り巻く状況の変化と自身の学び方	28 " (入所)	14 専門職業人としての介護福祉士	29 障がい者に対するサービスの提供の場とその特性	15 まとめと試験	30 まとめと試験
1 オリエンテーション・全体の流れ	16 <u>介護福祉の基本となる理念</u>																																		
2 <u>介護における安全の確保とリスクマネジメント</u>	17 社会福祉士法と介護福祉士法																																		
3 "	18 " 心身の状況に応じた介護を考える																																		
4 事故防止・安全対策(<u>介護従事者の安全</u>)	19. 介護における専門職能団体の活動 (役割)																																		
5 感染管理のための方策	20 " (日本介護福祉士会)																																		
6 高齢者介護施設と感染対策	21 <u>介護福祉士の倫理</u>																																		
7 感染対策とリスクマネジメント	22 " (演習)																																		
8 感染対策の基礎知識	23 介護サービスの特性																																		
9 感染症発生時の対応	24 ケアマネジメントの意味としくみ																																		
10 健康管理の意義と目的	25 介護サービスの歴史的変遷と時代背景																																		
11 こころの健康管理、からだの健康管理	26 介護サービスの種類と提供の場																																		
12 安心して働ける環境づくり	27 高齢者に対するサービスの提供の場とその特性 (居宅)																																		
13 介護を取り巻く状況の変化と自身の学び方	28 " (入所)																																		
14 専門職業人としての介護福祉士	29 障がい者に対するサービスの提供の場とその特性																																		
15 まとめと試験	30 まとめと試験																																		
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>最新介護福祉士養成講座 中央法規 介護の基本 I・II</p>			<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p style="text-align: center;">(試験やレポートの評価基準など) 試験80%出席10%レポート10%</p>																																